

玉竜旗高校剣道大会(高校剣道4大会のひとつ)で「5人抜き」達成！！

初出場・初勝利に導く活躍で、敢闘賞受賞！！

剣道部に所属する上田向菜夏 Ueda Hinaka さん(2年 姫路市立東光中学校出身 剣道3段)が、7月25日から開催された第93回玉竜旗高校剣道大会第1回戦で、福岡県の小倉東高校を相手に1本も許すことなく、先鋒から大将までの5人に対して1人で勝ち抜く偉業を達成し、「敢闘賞」を受賞しました。

この大会は、インターハイ・全国選抜・魁星旗(秋田県)に並ぶ高校剣道4大会の一つで、新型コロナの影響でこの2年間は中止を余儀なくされました。本年度は3年ぶりの開催。全国各地から333校が福岡に集結し、福岡市総合体育館(照葉積水ハウスアリーナ)で盛大に実施されました。2,000名を超える参加選手の中、「5人抜き」を達成した選手はわずか28名。全国で活躍する強豪選手の中、近畿地区内では2名、兵庫県内では上田さんただ1人の達成でした。



4	D-1-12				審判
	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
小倉東	小野	伊藤	嶋村	宮田	長野
姫路別所	上田	治田	北條	中本	塚本

上田さんの活躍が本校女子剣道部を初出場・初勝利に導きました。攻撃力のある中堅との戦いが山場でしたが、「もし負けても、後に控えている先輩や同級生がいることで安心して戦えた。でもここまで来たらチームの勝利のために最後まで戦おうと思った」と語ってくれました。

上田さんは5歳年上のお兄さんの影響を受けて、「朝日新聞剣道クラブ」で剣道を始めたのが4歳のとき。その後、姫路市立東光中学校で剣道部に入部。同じ中学校の1つ上の先輩である北條愛己さん(3年主将 剣道3段)の姫路別所高校剣道部での活躍と成長に影響を受け、本校に入学した生徒。素直で明るい、まじめな性格です。

2回戦では今大会を制した中村学園女子高校(福岡)に敗れましたが、主将の北條さんは「チームの良いところを出してきました。高校に入学して中村学園女子高校と戦いたいと思っていた。一番強い学校と試合することが楽しみでしたし、正直なところ、『勝ってやろう』とも思っていました」と。

姫路別所高校剣道部は、時間を大切に、メリハリのある稽古を心掛けています。スケジュールや稽古内容などは、主将やマネージャーキャップと顧問の先生の間でミーティングによって決めていきます。基本的に火曜日と日曜日がオフ日。平日の稽古時間は16時から18時の2時間。土曜日や祝日は9時から12時の3時間です。選手それぞれの得意部分を伸ばしながら、苦手なところは時間をかけて互いに教え合いながら稽古することで、生徒の自主性と主体性を育てています。興味のある方はいつでも気軽にご連絡ください。

